

会員各位

第 50 回日本臨床神経生理学会記念大会開催形式のご報告と参加登録のお願い

依然、コロナ禍は収束の気配を見せず、皆様におかれましてはお忙しい毎日をお送りされていることと存じます。学会運営事務局からのお知らせです。過日には多くの一般演題をご応募頂き誠に有難うございました。7月31日で締め切らせて頂き 324 題の演題を頂きました。これも皆様方のご支援の賜と感謝申し上げる次第です。

先日来、会員宛のメールでご報告やお願いをしておりますが、これまで、現地+Live 配信から全 web 開催まで、どのようになっても開催できるよう、理事会のバックアップの下準備を進めてまいりましたが、先日の理事会で最終的にハイブリッド開催が確定致しました。すなわち現地開催を行いつつ、現地参加出来ない学会員のために全ての会場（講演 8 会場、ハンズオン 2 会場で準備中です）を live 配信する予定です。現地では 3 密を避けるため各会場では定員の 50%以下となるように椅子を配置し、手指消毒液の設置や体温測定、アクリル板の設置、などと共に、場合によっては入場制限も考慮する予定であり、新しい時代の学会運営を実現する予定です。このため、事前に現地での参加者人数をある程度把握する必要があり、すべて事前登録とさせていただき、その際に現地参加か web 参加かの意思表示をお願いしております。ホームページに掲載しておりますように 9 月末日までは early bird として医師 18000 円（メディカルスタッフ 9000 円、学生 5000 円）とし、10 月からは医師 20000 円（メディカルスタッフ 10000 円、学生 5000 円）とさせていただいております。しかし、開催形式が決まらないうちに参加申し込みをすることを躊躇している方も多いとお聞きし、early bird を 10 月 14 日まで延長することと致しました。

今回は一般演題を全てポスター発表とさせていただきましたが、ポスター発表は、狭い空間に多くの参加者が集まる状態となるため 3 密を避けての実施が難しいと考えております。そこで、今回の学術集会では、会場でのポスター展示やディスカッションは実施しない方針となりました。つきましては、多くの皆様方から頂いた演題に応えるため、3 分以内の動画付きパワーポイントを作成していただき、学会中に on demand で web を通して閲覧出来るようにする予定です。もちろん会場内でも Wi-Fi を通じてご持参されたコンピューターやスマホで閲覧出来るようにさせていただきます。一般演題でご発表予定の皆様におかれましては、ご発表内容を 3 分以内の音声付きパワーポイン

トにまとめていただけますようご準備をお願いする次第です。

また、特別講演、教育講演やベーシック・アドバンスドレクチャーなど教育関係のご講演も、もし現地に集まることが出来ない講演者に対しては音声付きパワーポイントを事前にお預かりし、現地でのご発表の先生と同じように会場に映写すると共に、Live 配信も行う予定です。

シンポジウムに関しては、現地に来ることが出来る発表者は現地でご発表いただき、また、現地に来ることが出来なかったシンポジストの発表者は予め音声付きパワーポイントでお預かりした内容を会場で流すとともに、zoom を使用して座長が司会を担当し、シンポジストを招き入れる形で zoom を用いてディスカッションを行い、会場におられる参加者と共に、live 配信によりご自宅におられる参加者にも討論の内容を聴講できるようにする予定です。しかし、質問などに関しては web では行わない予定です。このため質問に関しては現地でしか自由には討論できないこととなりますので、可能な限り現地でのご参加をお願いしたいと思います。on demand 配信に関しては現在検討中ですが、もし実施した場合には、参加登録していただいた学会員の皆様には、当日の現地参加や live 配信の視聴がかなわなかった場合でも、後日の on demand 配信の視聴で参加点数を付与する予定です。

今回は第 50 回の記念大会であり、本学会の歴史を綴ったパネル展示や iPS に関する特別シンポジウム、Legend による記念講演や歴代理事長による座談会も実施させていただきますし、20 に及ぶ関連学会との合同シンポジウムも企画し実現しております。ハンズオンセミナーに関しては現在その開催方法を検討中ではありますが、筋電図、脳波、モニタリングの各主催セミナーのハンズオンセミナーをはじめとして、脳波・筋電図関係の企画とともに、頸椎人工椎間板やエコー、SCS、DBS などの興味あるハンズオンを用意し、皆様のご参加をお待ち申し上げます。また、感染予防の観点から全員懇親会や祝賀会は行えませんが、学会 2 日目であります 11 月 27 日の夕方には第 1 会場にて軽食を用意し、記念大会のセレモニーを現地参加の皆様とともに開催し、live 配信する予定です。今回のみ、学会の参加点数も 20 点と記念大会として特別な点が与えられることになっております。まだまだ詳細については検討中の部分もありますが、以上のような開催形式が確定致しましたことをご報告申し上げます。

ようやく涼しくなって秋の気配が感じられるようになってまいりました。本学会が開催される11月末は京都の紅葉が見頃を迎える観光のベストシーズンでもあります。Go to Travelを利用していただきますと、旅費や宿泊費も半額程度に負担が軽減できますし、Go to Eatを利用していただくと夜の食事もいつもよりワンランク上の京料理が味わえる楽しみもあります。このため通常より豪華なホテルに泊まり、ゆっくりと京都の秋を楽しむことが可能です。皆様方におかれましては本学会の歴史的な通過点をぜひ会場で体験していただき、本学会が歩んできた歴史を知り、本学会による我が国の神経生理学に対する多大な貢献を学会員全員で祝いたいと思っております。学会の準備の過程におきましては、コロナ禍の情勢のめまぐるしい変化に対応するため事務局一同、日夜全力で準備中ですが、諸事情により開催形式や各演者の先生方への依頼などが例年に比べ大幅に遅れておりますことを改めてお詫び申し上げます。このコロナ禍の中、様々な制約を受けながら、最善の方法をさぐる毎日でありますので、当日は皆様方にご迷惑やご不便をおかけすることもあるかと存じますが、この時節に免じお許しいただければ幸いです。皆様方のご参加を心よりお願いするとともに、皆様方のご支援により無事本学会の記念大会が終了できることを心より祈念しております。

2020年10月2日

第50回日本臨床神経生理学会学術集会会長

関西医科大学整形外科学講座主任教授

齋藤貴徳